

令和6年度

現場の技術・技能伝承支援研修

受講者募集

座学と実践を通して
企業の中核人材
を育成します。

募集定員 16名 (先着)

ねらい

- 現場において、効率的に技能伝承を進めることで、従業員の職場定着を支援します。
- 監督者としての資質や指導力を強化し、現場の技術・技能の可視化や人材育成方法、専門知識などを習得できる延べ 18 日間の総合講座です。
- 全カリキュラムを有機的に結び付け、現場の監督者にふさわしい知識・技能・態度を身に付けます。

特

- 受講者の所属企業の製造現場を教室とした実践的な研修です。
※**貴社の製造現場での実践研修**にご協力ください。
- 業務の見える化（マニュアル化、デジタル化）により、企業・職場の課題解決、生産性向上などを支援します。



徴

1. より品質・生産性の高い技術・技能にブラッシュアップすると共に、次世代への技術・技能の伝承を図る為には、『暗黙知』を『形式知』にすることが重要です。
※暗黙知：個人の経験や勘に基づく知識 ※形式知：文章や図表、数式で説明できる知識
このプロセスを、座学と実践を通して、“行動できる”まで修得するように進めます。
2. 受講者の“気づき”を大切にし、職場の問題・課題に自ら積極的に取り組む現場リーダーを育成します。
3. 県内企業での指導実績豊富な講師が、受講者に寄り添った活動支援を実施します。また、講座終了後のフォロー支援も可能です。

概

1. 既存の価値観や枠組みを根底から覆すリーダーの育成（4日間）
 - ・変革の行動を起こすための「思い込み」と「他責」からの脱却
 - ・「歩行ラリー」という屋外競技を通して、3現で事実をみる、チームワークの大切さを体得するとともに、リーダーシップ発揮のポイントを修得する。
 2. 「職場の変革」（仕事の流れを変える）に必要な手法の習得（5日間）
 - ・『暗黙知』を『形式知』化し、品質・生産性を向上させる改善プロセスに必要な考え方・手法を演習を交えて学ぶ。
(TQM、TPM、TPS の各種手法、作業の標準化と作業要領書への落とし込み)
 3. 異業種企業での「職場・企業の変革」の実践（7日間）
 - ・テーマ選定、現状把握、現状分析（問題点の顕在化）、改善策の検討、活動のまとめ
 4. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上（2日間）
 - ・これまで学んだことを応用して技術・技能伝承の自社での対応、DX 推進への対応を学ぶ。
 - ・最後に、活動の成果発表と今後の活動計画、決意表明を実施する。
- ◆開催日：令和6年8月6日～令和7年2月21日（18日間）



要

対象

- ・将来の管理者を目指す方
- ・現場の管理・監督者として活躍を期待されている方
- ・製造現場の管理・監督者に求められる能力を総合的に習得する必要のある方、又はその候補者で在籍企業から推薦のある方

＜運営団体 一般社団法人富山県経営者協会＞

開催日・研修カリキュラム（概要）

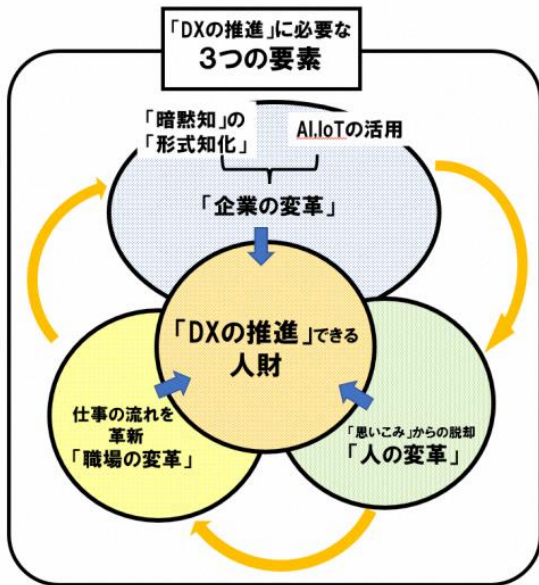
回数	日程	カリキュラム	主な内容	
第1ステージ (意識改革)	1	8/6 (火)	入校式 自己紹介 概論	1. 監督者の役割の認識 2. 講座の全体像の理解
	2	8/27 (火)	「気づきの力」 の醸成	1. VSM（モノと情報の流れ図）の手法 2. 全体最適について（鳥の目・魚の目・コウモリの目・虫の目）
	3	9/17 (火)	3現実実践力 の養成	1. チームワーク 2. リーダーシップ
	4	9/18 (水)		3. 「他責」・「思い込み」からの脱却 4. 屋外研修「歩行ラリー」を通じた“3現実実践力”の向上 ※「思い込み」の弊害を体感
第2ステージ (仕事の流れ改革)	5	9/24 (火)	QC的な考え方と 問題解決の進め方	1. 品質管理概論 2. 5Sの重要性
	6	10/1 (火)	ゲーム感覚で学ぶ IE・PM・未然防止 の手法	IEの概要 1. 実践活動①「ロット流し」と「一個流し」 2. 実践活動② ピンボードゲームによる作業観察研修
	7	10/15 (火)		1. 実践活動③ プラモデルの組立作業を通じた共同作業分析研修 2. 実践活動④ 作業者と機械の関わり分析 3. 実践活動⑤ ムダを見つける為の可動分析
	8	10/29 (火)		1. 実践活動⑥ シャープペンシルの分解を通して、機能・構造を知り、故障解析に結びつけるPM分析手法の習得 2. 実践活動⑦ 「なぜなぜ分析」による人為ミスの攻略実践
	9	11/12 (火)		1. 実践活動⑧ 設備総合効率（可動率）の算定と活用 2. 実践活動⑨ 作業の標準化と作業要領書への落とし込み 3. 現場実習における留意点の説明と討論
10	11/26 (火)	現場実習①		1. 現場実習① 実習現場の見学と課題の提示（企業側より） 2. テーマ選定～現状把握①
第3ステージ (進め方改革)	11	12/3 (火)	現場実習②	1. 現場実習② 現状把握②～現状の分析
	12	12/4 (水)		2. 現場実習② 実習②のまとめ
	13	12/17 (火)	現場実習③	1. 現場実習③ 問題点の顕在化・共有～改善案の検討
	14	12/18 (水)		2. 実習③のまとめ
	15	1/14 (火)	現場実習④	1. 現場実習④ 最終案の共有
	16	1/15 (水)		2. 現場実習④ 発表資料のまとめ
第4ステージ (ラレタレーション能力向上)	17	2/4 (火)	成果発表①	1. 現場実習先での発表 2. チーム毎の発表内容の共有化
	18	2/21 (金)	成果発表② 修了式	1. 成果発表と個々人の決意表明

合宿予定

合宿予定

※受講生の理解度によって、カリキュラムを変更する場合があります。
現場実習の時間につきまして、受入企業様の事情により変更する場合があります。

研修カリキュラム（イメージ図）



4つの視点

4つの目でみよう！

「鳥の目」「魚の目」「コウモリの目」「虫の目」



- 「虫の目」… 詳細な部分を見る目 細かく見る目、現場の視点
- 「鳥の目」… 全体を俯瞰する目 マネジメントの視点
- 「魚の目」… 流れを感じとる目 流れを阻害する要因の排除
- 「コウモリの目」… 別の側面を見る目 物事を反対から見たり、従来の見方に捉われず、固定概念を取り払ってみる。常識を疑う

業界の習わしに縛られていませんか？「なぜ、そのような仕組みなのですか？」という質問に「業界の常識だから」としか答えられないようなら、その考え方を切り崩す事ができないか、一度考えてみてください。
そのような視点、発想が新たな発見を生み出すのです！

講 師

◆主任講師 棚邊 一雄（M&P研究所 代表）

1970年アイシン精機㈱に入社後、1972年アイシン軽金属㈱に転籍し、生産技術部門、TQC部門に従事。ダイカスト工場長、常務取締役、専務取締役を歴任後、グループ会社の社長に就任。退任後は、M&P研究所を設立し、中小企業の改善、ものづくり支援に関する指導・コンサルティングに従事。東京大学ものづくりインストラクター（R）としても活動中。

◆主任講師 竹村 稔（M&P研究所とやま 所長）

1977年アイシン軽金属㈱入社。TQC・PM推進部門に従事した後、機械加工工場長、生産管理部長、米団法人会社アイシン・ライト・メタルズ社長などを歴任。退社後は、M&P研究所とやまを設立し、「品質管理」「生産現場の問題解決」など公開講座の講師や、中小企業の管理改善・人材育成にむけた取り組みの支援を行っている。

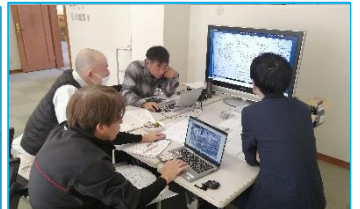
◆外部講師 熊原 徹司（ヒューマンズコンサルティング㈱ 代表取締役）

㈱資生堂、SMBCコンサルティング㈱を経てヒューマンズコンサルティング㈱を設立。中小企業診断士。人事制度策定、教育体系構築及び企画、各種人事マニュアル作成から研修プログラムの開発実施に努めている。2009年から組織活性化研修として有名な「歩行ラリー」の教育内容、進め方等を研究し、コース設計会場は15カ所を越え、その経験数は日本トップレベルである。現場の管理者を対象とした3現実践能力の向上をねらいに活躍している。

◆現場実習講師

品質管理部門、製造部門の責任者として第一線で活躍している経験豊富な県内企業の経営者・管理者

【過去の研修状況】



【受講申込書】

FAX送信
076-444-4405

現場の技術・技能伝承支援研修

※受講申込書及び受講により得られた個人情報、この研修会実施以外の目的では使用しません。

以下の欄に漏れなく記入してください。また、□欄にはチェック☑を記してください。

会社名					
住所	〒 ー				
代表者 (職・氏名)					
ご 連 絡 先	部 課		担 当 者 名		
	TEL		FAX		
	メール アドレス	_____ @ _____			
受 講 者	(ふりがな)		年 齢	才	性 別
	氏 名				<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
				生 年 月 日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成
	所属部課・役職		勤 務 年 数		年 月 日
	担 当 業 務				
生産現場での 製造品目					
確 認 事 項	実習会場の 提供の可否	工場などの製造現場を「第3ステージ」の実習会場として提供することが <input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> 条件など ()			
	事前面談の実施	令和6年8月2日(金)主任講師との個別面談があります。時間は別途連絡します。			
	応募条件	・PCの基本操作及びOfficeソフト(ワード・エクセル・パワーポイント)の基本操作 ができること。 ・研修期間(18日間)のうち8割(14.5日間)以上出席できること。			



【受講費用】

99,000円(宿泊費込) + 合宿時意見交換会実費
(後日、県から郵送する納入通知書にて指定金融機関で納入していただきます。)

【申込方法】

本書にすべてご記入の上、Eメール又はFAXにてお申し込みください。
※先着順

申込期限：7月24日(水)17時15分までに必着

【申し込み・問い合わせ先】

富山県商工労働部労働政策課人材育成係
Eメール：arodoseisaku@pref.toyama.lg.jp
TEL：076-444-3260

